

聾学校地域支援だより

暑くなり、汗をかくことが増えてきました。学校では水泳の授業が始まります。今回は夏の困りごとについて考えていきましょう。

水泳の授業で・・・

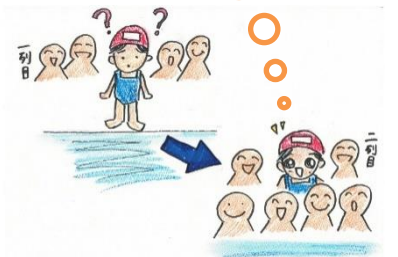


水泳の授業では補聴器や人工内耳を外すので聞こえません。
水泳の学習時に知っておきたい支援方法について考えていきましょう。

水泳の授業における支援の例：

- ・ 帽子の色を変えて、目立つようにする。
- ・ 帽子や水着にワッペンなどの目印をつける
- ・ 授業の始めにホワイトボードに授業の流れを提示してもらう。
- ・ 手のサインを決めておき、合図を出してもらう。
- ・ 列は2列目辺りで、様子を見てから活動できるようにする。

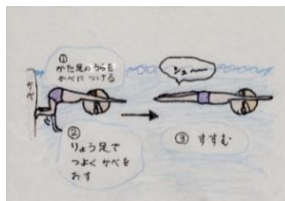
2列目なら、前の人を見て動ける！



絵カード

絵で具体的に体の動きを示して、文字で簡単にポイントの説明をしています。

地域支援部に絵カードのデータがありますので、在籍校に支援の依頼をする場合はお気軽に御相談ください。



授業の流れが分かる！安心できる。

人工内耳の防水カバーを着けている人もいます。

専用の防水カバーがあればプールでの装用が可能になります。

※補聴器には防水カバーはありません。



*授業の前と後で確認しておくこと：

前

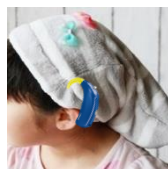


乾燥ケース

外すタイミングや保管場所の確認！濡らさないように気をつけましょう



後



髪と耳の裏をよく拭きましょう！

補聴機器が壊れないように

- ・ドライヤー
- ・タオルキャップ

を使う先輩もいました。

※学校の先生と相談。

暑くて汗をかいたら・・・

とにかく拭きましょう。



補聴機器にとって、水分は大敵です。特に汗は塩分も含んでいるため錆^{さび}の原因にもなります。汗をかいたらとにかくよく拭きましょう。補聴器や人工内耳、自分の耳や髪の毛の汗をしっかり拭きとりましょう。カバーをするのもよい方法です。しかし濡れたままのカバーをずっとつけていることは補聴機器にとって良くありません。カバーも濡れたら取り換えられるように、替えのカバーを用意しておきましょう。夜間は乾燥ケースに入れると故障の予防にもなります。



*宿泊学習や修学旅行などにも、乾燥ケースを持っていきましょう。



聾学校 サマースクール



毎年、通級指導や教育相談を利用している児童生徒、保護者を対象にサマースクールを開催しています。地域の学校に通う友達と一緒にグループ活動をしたり、先輩の講演を聞いたりしています。今年は通級を卒業した難聴の大学生とその御両親の講演会を予定しています。難聴者の体験や思いと同時に御両親の苦労や葛藤、喜びなど貴重なお話を聞くことができます。御参加お待ちしております。

令和7年8月1日(金)

群馬県立聾学校 会議室

(受付) 13:20～

第1部 13:30～14:30 レクリエーションと保護者同士でのフリートーク

(受付) 14:30～

第2部 14:40～16:40 講演会 ※2部のみの参加也大歓迎です。

講師:本校通級指導教室卒業生
保護者

相澤 ^{てんま}天希 さん (大学2年生)
相澤 典孝・美由紀 さん